

和歌披講とは



▲冷泉家和歌披講(平成28年)

和歌披講とは、あらかじめ出題された兼題について詠まれた和歌を朗詠することです。

主に4つの役割に分かれて進行します。「読師」は、披講の座を指揮し、歌うべき和歌を提示する最も重要な役で、実際に声を出して歌うことはありませんが、歌道について深い知識と理解を備えた人が務めます。「講師」は、読師が示した歌を読み上げ披露します。「発声」は合唱を先導する役で、その音の高低によって全体の調子が決まります。「講煩」は、和歌を合唱する人々を指します。

また、披講の曲には「甲」と「乙」の二種類があります。乙の曲のみ音の高低が付き、「乙」「乙の甲」「乙の乙」の三つに分けられます。冷泉流は、音が複雑に上下する古風な節回しが特徴です。

大崎市誕生20周年記念事業「冷泉家 和歌披講」

岩出山地域と縁の深いみやびな調べを堪能してください。

日時 10月10日(土) 開場:正午 開会:13時

■プログラム

時間	内容
13:00～	祝いの舞「鶏舞」(上野目神楽鶏舞伝承クラブ)
13:20～	講演「冷泉家の歴史と文化」(講師:冷泉家第25代当主 冷泉 為人 氏)
14:20～	冷泉家 和歌披講(冷泉家時雨亭文庫)
15:00	閉会

場所 岩出山文化会館(スコーレハウス)大ホール

定員 450人(応募多数の場合は抽選)

申込 9月10日(木)まで市公式LINE、または往復はがきの「往信用裏面」に「和歌披講観覧希望」・観覧希望者の氏名(往復はがき1枚につき2人まで受け付け)・代表者の住所・電話番号を明記し、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記して文化財課(989-6188 古川七日町1-1)に郵送(必着)で申し込み



▲市公式LINE



▲市ウェブサイト

有備館企画展 「京都冷泉家と岩出山伊達家の縁」

冷泉家から岩出山伊達家に贈られた貴重な典籍や巻物を通して、長く続いた両家の交流を紹介します。

期間 9月16日(木)～11月15日(日)
9時～17時(最終入館16時30分まで)

場所 旧有備館および庭園

料金 一般400円、高校生300円、小・中学生200円

☎ 旧有備館および庭園 ☎72-1344

図書館ミニ展示 「京都からの手紙」

冷泉家の家族や親戚から岩出山伊達家に宛てて送られた手紙を中心に、武家文書とは異なる公家文書の内容や書風の趣を紹介します。

期間 9月29日(木)～12月27日(日)

場所 図書館(来楽里ホール)

郷土展示コーナー

☎ 文化財課保護担当 ☎23-2214



大崎市誕生20周年記念事業「冷泉家 和歌披講」 —和歌でつながる冷泉家と大崎市—

☎ 文化財課保護担当 ☎23-2214



大崎市誕生20周年を記念し、冷泉家時雨亭文庫による「和歌披講」を開催します。今回の開催は、江戸時代に始まった京都の冷泉家と岩出山伊達家のつながりに由来しています。大崎市と冷泉家の歴史や和歌披講の魅力を紹介します。

和歌の家「冷泉家」

冷泉家は、平安時代後期から鎌倉時代にかけて活躍した歌人、藤原俊成・定家・為家の流れをくむ「和歌の家」です。鎌倉時代中期に為家の四男・為相を初代とし、約800年にわたり「冷泉流歌道」を守り伝えてきました。



▲大切な典籍類を収めている冷泉家の御文庫(右)と御新文庫(左)

冷泉家と大崎市のつながり

江戸時代、岩出山地域を治めた岩出山伊達家は、伊達政宗の四男・宗泰を祖とします。岩出山伊達家三代・宗親には冷泉家十二代・為清の娘・於妻姫が、岩出山伊達家四代・村泰には冷泉家十三代・為綱の娘・伊世姫が興入れ(嫁入り)しました。これを機に京都の文化が岩出山地域にもたらされ、冷泉家との交流が深まる中で、岩出山伊達家では公家文化を代表する「冷泉流歌道」が親しまれるようになりました。

その背景には、和歌や連歌、能、茶の湯などを愛好した伊達政宗から受け継がれた、伊達家の文化を重んじる伝統があったと考えられています。この歴史的つながりが、1市6町が合併し大崎市となった現在も、冷泉家との交流へと受け継がれ、今回の和歌披講の開催につながっています。

